



●肌が脱皮して、良かったね!

勿論、よいもので出来ているえりくさ化粧品だって、そう簡単には効果はでない。

『ここ一週間ではなく、ここ3ヶ月たっぷりと試してください、そうすれば必ず肌は「よるこんで」再生してくれます!』

美容家のプロ（※1）もススメル商品として、えりくさクリームは本当に安心して使えますね。また、スーザンさん自身もアレルギー体質（※2）で、お子様も重度のアトピーだった（※6）ことも、貴重な経験となっています。

（※1）

1. 日本の化粧品会社で基本的な顔のシンプル・マッサージを学ぶ。
2. イギリスでメイクを学ぶ。
3. タイ（バンコク）では、タイ式マッサージを学ぶ
4. インド研修でアーユルベダーの本場で学ぶ。
5. フランスでは2回、スペシャル・ケアリストに師事し学ぶ。
6. 鍼灸の先生から、ケアリストとしても奥深い体のケアを学ぶ。

（※2）

・日光湿疹と金属アレルギーを持つ

（※3）

・息子さんは重症のアトピー体質で、生きた肌のモニターさんでした。

もし、えりくさクリームを塗って皮膚の皮が剥けたのなら、それは『よかったね～～、肌は再生しようと

してるのよ、脱皮、脱皮よ』

肌の細胞が、本来の肌に戻ろうと一生懸命再生している証拠なんですって!

●お尻のモチモチ肌を目指して。人の肌は本来、

胸のところとお尻の肌のようにツルツルなんだそうです。これは紫外線や摩擦から守られている場所なので赤ちゃんの肌のようにきれい。

しかし、日本人は潔癖症でお風呂で体や顔を石鹸で、ゴシゴシ洗わないと気が済まない人が多い。石鹸でゴシゴシ洗うと、大切な肌を守る「常在菌」がどんどん少なくなってしまうそうです。私も每晚、いつも石けんで洗顔していました。（気がすまない日本人!）その上、洗顔後のケアもマズかった!→クリームか乳液で自己流&簡単マッサージ→皮膚を傷める→小じわ!!!



『少しの間・・・化粧落しのクレンジングを『えりくさクリーム』を使うことをオススメします』

えっ～～!えりくさクリームをクレンジング・クリームとして使うんですか!?

えりくさクリームが皮膚に浸透して、汚れを浮かし落としてくれる。その上、栄養も与えてくれるそうです。その時はえりくさクリームとえりくさローションが最強ベストコンビ。

暫くは肌再生の為に・・・自分の胸とお尻のところのモチモチ肌を目指して。

●自己流マッサージは危険。自分で一生懸命、小じわを作っていた。

えりくさクリームは、「ミツロウ」が入っているので、すばやく溶けて皮膚への浸透が早い。

スーザンさんからマッサージを教えてください。

『掌全部を使って包み込むように、リンパの流れにしたがってマッサージをします。皮膚の細胞が、あ～っ美味しいご飯がきた、よし再生しようと動きだします。細胞がキュンと締まって、緩んだ頭部全体がもち上がっていきますよ』

皮膚は、細い線が網の目のように走り、小さなくぼみと盛り上がりで形成されている。細い線のように見える溝を「皮溝」、小さな盛り上がりを「皮丘」と呼ぶ。

この皮溝が細かく浅く、皮丘の大きさや高さが均一だと、キメの細かい肌になる。

でも、手で顔をゴシゴシ洗ったり、擦ったりすると荒れてガサガサになり、「皮溝」の溝も深く小じわの原因になる。

その証拠に・・・スーザンさんの年齢!に驚いた。引き締まった美しいフェイスラインと張りのあるお肌は普段のお手入れの賜物です。

あごのラインがすっかり落ちて「ブルドッグ顔」にならないために、口角がすっかり落ちて「怖い顔」にならない為にも、少しの努力は必要のようです。

●ヨーロッパの肌のケア事情
スーザンさんは3年ほどイギリスに住んでいた。

『日本はお水に恵まれている、だから一生懸命風呂でカラダを洗ってしまうけど、その割に「日本人は肌のケア」はあまりしないわね』

ヨーロッパは水が硬質で石灰が多いため、この水（湯）でカラダをゴシゴシと洗うと、肌がすぐにガサガサになってしまう。お風呂は「湯に身体を浸かる」だけ。それで、風呂でゴシゴシ洗わない分、香水文化がある。

化粧品はヘビのマークの看板のところが治癒効果の商品が並ぶ。ドラッグストアの店員がその人にあったブランドに関わらない、お客の目的にあったものをすすめる。それで改善されなかったら、「薬」が処方される。

「へび」のマーク・・・医学のシンボルとして、欧米では古くから「アスクレピオスの杖」が用いられ、その杖には一匹の蛇がからまり、健康、不老、長寿などを象徴している。



化粧品は肌の再生も促すので、ある意味、薬なのかもしれない。だとしたら、よけいに安心できる商品を肌に使いたいですね。

●美しくなると「バンパース（オムツ）」も取れる。

老人ホームで、お年よりにお化粧を施すと大変に皆さん喜ばれて、後でスタッフから、お化粧した方に「バンパース（オムツ）」が取れた方がいた、と教えていただいたそうです。

肛門は第二の脳といわれる。

お年寄りもお化粧して、美しくなると脳が活性化して、おトイレに行こうという気持ちになり、バンパースが取れた!話は皆でほほえましく思いました。女性は年齢を重ねても、美しくしたい、それが原因で元気になったなんで・・・素敵な話です。

●「マッサージケア」も体験、翌日は肌がツルツル。

メイクのクレンジングから、やっていただいたのですが・・・さすがでした。

まずえりくさクリームを掌で溶かして指先でつけてのばしていただくのですが、まるでスーザンの掌全体は真綿のようです。「今、湿らせたコットンで顔をマッサージしてます?（私は目をつぶってます）」「いえ、指だけですよ」、「指～?柔らかか～い!」と何回も同じことを聞いてしまうほど・・・それほど熟練したソフトなマッサージなんです。余分なチカラが全く入っていない。顔のリンパの流れ、筋肉の流れに従って、

- 1、手をグルグル回さない。
- 2、こすらない
- 3、往復しない
- 4、力を入れない
- 5、左右対称にマッサージ。（手の機能回復にもなる）

私は力いっぱいマッサージしていたな～、しかもグルグルと往復で～（全部、アウトだ!）

マッサージ後は、えりくさ水を温めた湯（30℃）でコットンに湿らせて、浮いた汚れを押さえ拭きしていく。これを2回、クレンジング。

顔にも身体の経絡に沿ったツボがあって、そこをマッサージされると「痛い」。人によっては眼球付近のマッサージが痛い方と、私は「胃」と「腸」に関係しているツボをマッサージされると痛かった。翌日の朝、体調も良くなり、顔が艶々になったので顔のマッサージもすごい

なあ・・・と感心しましたね。

●「内臓の衣服はお肌」だと理解することです。

休むときはきれいに洗った布団のシーツやパジャマだと、気持ちよく

眠れます。細胞もきれいになると気持ちよく休めて元気になるようです。これが、汚く、臭いパジャマだったら、あまり素敵な睡眠がとれるとは思いません。えりくさクリームは「肌の衣服」をきれいにして、ゆっくり休めるようにしてくれるのです。

●さ～、今日から始めましょう。

私は、うちの店で売っている農園の野菜を食べて、発酵食品をたべて、安心の油を摂り、有精卵と安全な肉や魚も食べて、肌には無添加の化粧品を使えば、肌はきれいと思っていたのですが、ここ数年、それだけでは肌は改善しないことにやっと気づきました。

もう化粧品メーカーの「美肌」「美白」のコマーシャルに心を動かされる必要はありませんね。基本のエリクサー水で作った「化粧品」、ただこれだけ使い続けるだけ。あとは「使い方」が重要。

そのことに気づかせていただき、スーザンさんに感謝です。

そして、さすが「プロのケアリスト!!」、「講習会」も「マッサージケア」も素晴らしい内容でした。

今後も、まほろばで「講習会」と「マッサージケア」を開催し、多くのお肌のお悩みを抱えている方の強い味方となるでしょう。

『百聞は一見に如かず』・・・ぜひ一度、この美しくチャーミングな先生（元モデルさんよ～～）「マジカル スーザンさんの『美容講習会』から、まずはご参加ください。

